

第2部 市民と議員の意見交換会 各グループの市民の主な意見

◆Aグループ



市民の意見

- リサイクルの観点から、びん類の色別回収を市全体で統一してほしい。
ごみの分別は重要であるが、このような細かい分別は、スペースの問題や高齢者の負担になるとの意見もあり課題である。
- 生ごみの減量化を促進するため、生ごみ処理容器購入補助制度の購入対象店や対象容器の種類を見直してほしい。

◆Bグループ



市民の意見

- 重信、川内地区のごみの出し方を統一してほしい。
- プラごみ（チューブ類）等は、洗浄に手間と水道代がかかる。可燃ごみにしてほしい。

◆Cグループ



市民の意見

- 東温市のごみ分別は厳しい。松山市のごみ分別では、「靴」「絵具（プラチューブは「プラ」）」「プラスチック製ライター」は、可燃ごみである。東温市の可燃ごみも松山市と同じ施設で処理しているのであれば、分別方法も松山市と同じにしてほしい。
- 高齢者による粗大ごみの出し方が課題である。
- ごみ分別が難しい。
《「市公式LINEのごみ分別検索機能」で確認することができます。》

◆Dグループ



市民の意見

- 松山市への可燃ごみ処理委託料を削減するためにも、コンポスト（生ごみ処理容器）の活用及び普及促進に力を入れてほしい。
- 粗大ごみ置き場に大型家電が不法投棄をされているのを解決してほしい。
《ごみ置き場の管理は自治区が行っています。市の担当課に相談し対応することになります。》
- クリアファイルはプラごみにならない理由を知りたい。
《プラマークのあるものは、容器包装リサイクル法に基づきリサイクルされることになっていますが、製品プラスチックについては対象外であるためです。》